

小金井市生活困窮者学習支援事業委託 質問回答書

	質 問	回 答
1	令和5、6、7年度の訪問型登録人数（学年ごと）、年間の延べ実施数、1名あたりの年間の平均実施数をお示しください。	実施者数は、令和5年度10人（中学3年生5人、中学2年生3人、中学1年生2人）、令和6年度10人（中学3年生6人、中学2年生2人、中学1年生2人）、令和7年10月末現在7人（中学3年生4人、中学2年生3人）です。令和6年度の年間の延べ実施数は284回、1名あたりの平均実施数は28回です。
2	仕様書 1頁 3(3)実施回数等 令和7年度の支援回数実績について、対象指導人数及び各指導回数をお示しください	
3	応募者が定員を超えた場合は、どのように対応をされていますか。	当市では、利用希望者を広く募集するのではなく、生活保護のケースワーカーやこども家庭センターの職員の紹介により利用者を決定しています。希望者と直接接している職員から個々の状況を聞き取った上で、他制度（生活保護受給者に対する通塾費用の助成等）の活用の可否を検討し、本制度の必要性が高い方を優先しています。
4	令和5、6、7年度において、本事業の課題と成果をお示しください	本事業が広く周知され、利用者はもとより、支援関係者からも好評をいただけているのは大きな成果であると認識しています。また、多くの利用者が希望する進路に進んでおり、「貧困の連鎖を防ぐ」という事業の目的が果たされているものと思っております。 一方で、利用者が本事業終了後にも必要な支援に確実につながることができるよう、市、支援関係機関、受託者がどのように連携を図っていくかが今後の課題であると考えています。

※質問内容の文面は提出された質問票原文のまま掲載しています。

	質問	回答
5	現事業者名といつから受注をされているかお示しください。	
6	その他 現受託事業者をお示しください	令和5年度から今年度まで、委託先は「株式会社キズキ」です。
7	現受託者が選ばれたよい提案をお示しください。	学習支援のみならず、家庭状況の把握や子どもの生活支援の方法、保護者に対する養育支援も含めた福祉的支援が可能であることが提案され、評価されました。
8	対象者に配布されているチラシをお示しください。	別添のとおりです。
9	小金井市事務報告書（令和3年度～令和6年度）に記載されている「1世帯1か月あたりの平均利用回数」について、年度ごとに減少傾向が見受けられます。その主たる要因について、貴市のご見解をお示しください。	年度途中から支援開始となった方がいらっしゃったことと、本人やご家族の体調不良等によるキャンセルが影響しているものと解しています。
10	令和3年度～令和6年度において、年度途中で支援を中止した生徒数および主な中止理由をご教示ください。	支援の中止の詳細については記録しておりませんが、令和6年度に支援を中止した生徒は1人で、ご本人から、民間の学習塾に通いたいとの希望があったため、利用中止となりました。

※質問内容の文面は提出された質問票原文のまま掲載しています。

	質 問	回 答
11	<p>本事業を利用した中学3年生の進路状況について、令和2年度～令和6年度の実績を以下の項目ごとにご教示ください。</p> <p>①高校進学率          ②進学先の区分（全日制／定時制／通信制、公立／私立）          ③第一志望校への合格状況</p>	<p>令和2年度から令和6年度までの進学状況は以下のとおりです。なお、③第一志望校への合格状況については、市では把握しておりません。</p> <p><b>【令和2年度】</b></p> <p>①中学3年生2人のうち1人の進学は確認できましたが、もう1人については記録が不十分のため、進学先の確認がとれませんでした。</p> <p>②確認がとれた1人については、定時制、公立高校に進学しました。</p> <p><b>【令和3年度】</b></p> <p>①83%（6人中5人）          ②全日制2人、定時制0人、通信制3人/公立3人、私立2人</p> <p><b>【令和4年度】</b></p> <p>①100%（3人中3人）          ②全日制1人、定時制1人、通信制1人/公立2人、私立1人</p> <p><b>【令和5年度】</b></p> <p>①100%（5人中5人）          ②全日制2人、定時制3人、通信制0人/公立5人、私立0人</p> <p><b>【令和6年度】</b></p> <p>①100%（4人中4人）          ②全日制0人、定時制3人、通信制1人/公立3人、私立1人</p>
12	令和3年度から令和6年度における、仕様書5(4)に記載の「本事業の利用経験がある高校生への相談支援」の実施回数について、ご教示ください。	本事業を利用した中学3年生のフォローアップとして、主に電話で新生活での様子を聴取しており、1人につき1回実施しています。

※質問内容の文面は提出された質問票原文のまま掲載しています。

	質 問	回 答
13	仕様書 1頁 5事業の内容 オンラインでの指導実績があるかお示しください。	オンラインでの指導実績ありません。
14	募集要項 1頁 1(6)支払方法 請求金額は部分払い12回とありますが、各月の請求は訪問実績に 対して単価契約ということでしょうか。	契約額の1/12を毎月均等払いです。

※質問内容の文面は提出された質問票原文のまま掲載しています。